

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 28 年度

市町村名	加須市			
提案事業名	UIJターンによる定住促進事業			
事業期間	28 年度	～	28 年度	
事業の必要性、目的	定住人口を確保して元気な加須市を実現するため、市内に移住する人や市内に住む親族と同居・近居する人を歓迎し、支援する。 また、市内にある空家の適正管理と有効活用を図るため、空家バンクを設立し、定住支援策の一つとして活用する。			
成果指標	(成果を検証する指標) 空家バンクの契約成立件数			
	(成果検証の具体的な方法) マッチング後の追跡調査			
	(上記の指標を設定した理由) 空家バンクの活用により、空家の有効利用に直接つながる成果指標となるため			
	(成果の目標値)			
	現状値 (年月現在)	-	目標値 (28年度末時点)	3組
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
	住民への公表方法及び特記事項 市のホームページに掲載 総合戦略による成果検証			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成 年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 空家バンク創設事業	ハードソフト間接補 空家バンクを設立し、空家の適正管理と有効活用を図ることで、市内への定住促進につなげていく。	2,962千円
② 居住UIJターン促進事業	ハードソフト間接補 市内に住宅を取得して転入してくる方をサポートするための定住コンシェルジュを配置し、空家等の情報提供や開発許可手続きの支援を行うほか、引越費用の一部を補助するなどし、市内への定住促進につなげていく。	1,120千円
③ 三世代ふれあい家族応援事業	ハードソフト間接補 3世代以上の家族の同居を目的とした住宅のリフォーム費用の一部を助成するとともに、土地の税制優遇や3世代応援ショップ制度を創設し、多世代同居を促進することで、市内への定住促進につなげていく。	6,000千円
④	ハードソフト間接補	
⑤	ハードソフト間接補	
⑥	ハードソフト間接補	
合計		10,082千円

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	空家バンクを設立し、空家情報のデータベース化を図ることで、空家の適正管理と有効活用につなげていくことができる。また、定住コンシェルジュによる情報提供や手続き等の支援、引越費用の助成、土地の税制優遇など多方面からの支援により、空家の有効活用と市内定住の促進につなげていく。
成果指標の達成見込み	事業実施年度については、システム開発等に時間を要することから空家の契約件数はあまり見込めないが、次年度以降については、空家バンクの活用と定住コンシェルジュや支援事業の実施により達成が見込まれる。